

## ○桐生市立小中学校の教育環境に関するアンケート調査の概要

### 1 調査目的

桐生市立小中学校適正規模・適正配置審議会において、小中学校における学校規模の適正化や将来を見据えた学校配置の在り方、少子化に対応した魅力ある学校づくりなどについて検討する際の参考資料とするため、保護者、児童生徒及び教職員を対象として、小中学校の教育環境に関する調査を行うものです。

### 2 調査対象

保護者、児童生徒及び教職員 合計3,893人

《内訳》

- |                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| ・保護者（小学5年生、中学2年生、令和4年度小学校入学予定の未就学児） | 2,149人 |
| ・児童生徒（小学5年生、中学2年生）                  | 1,501人 |
| ・教職員（小中学校）                          | 243人   |

### 3 調査期間

令和3年6月23日（水）から令和3年7月20日（火）まで

### 4 調査内容

別紙のとおり：参考資料として小学生保護者用を添付

## 「桐生市立小中学校の教育環境に関するアンケート調査」

— ご協力をお願い（小学生保護者用） —

保護者の皆様には、日頃から本市の教育行政にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、桐生市教育委員会では、小中学校における学校規模の適正化や将来を見据えた学校配置の在り方、少子化に対応した魅力ある学校づくりのために、保護者の皆様から教育環境の在り方に対するお考えをうかがいたいと考え、「入学前園児」「小学校5年生」「中学校2年生」の保護者の方々を対象にアンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、大変お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 【記入上の注意】

- 1 調査用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 2 調査用紙の各設問の選択肢の中から該当する答えを選び、HBより濃い鉛筆(HBも含む。シャープペンシルも可)で、下記の例のように正しくマークしてください。問題によっては文章でお答えください。  
(良い例) ● (悪い例) ○ ⊙ ⊛ ⊜
- 3 はじめに2、3ページの「桐生市立小中学校の現状」をお読みください。
- 4 ご記入いただいた「調査用紙」は、配布・回収兼用の連絡用角形2号封筒に入れ、無記名のまま7月16日(金)までにお子様を通じて学級担任にご提出ください(この「ご協力をお願い」は、ご提出いただかなくても結構です)。
- 5 お子様が中学校2年生、市内幼稚園・保育園・認定こども園の年長組にも在籍する保護者の方には「中学生保護者用」「入学前園児保護者用」にもお答えいただけます。該当する用紙に回答し、各担任にご提出ください。
- 6 調査についてのお問合せは、下記担当までお願いいたします。

桐生市教育委員会事務局(月～金 9:00～17:00)  
教育部 教育未来室  
電話: 0277-46-1111 (内線686)

令和3年6月 桐生市教育委員会

はじめにお読みください

## 桐生市立小中学校の現状

### 1 桐生市の教育が目指しているところ

桐生市では、教育、学術、及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるため、令和2年12月に「桐生の未来を担い、世界に羽ばたく人づくり」を基本理念とする第2期桐生市教育大綱を策定、これにもとづき、地域の特色を生かした教育を通じて、桐生への愛着や誇りに思う気持ちを育むとともに、夢や志に挑戦するために必要となる力を育成し、桐生の発展を牽引する人材や世界を舞台に活躍する人材を育成することを目指しています。

なお、義務教育に関して、新学習指導要領では「多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」としています。平成27年1月付「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」でも「学校は、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられます。このようなことから、一定の学校規模を確保することが重要となる」と述べられています。

### 2 小中学校の規模について

- ・小中学校とも、学校教育法施行規則第41条及び第79条で「12～18学級が標準」とされています。これは、集団の中で多様な考えに触れて互いを認め合い、協働的な学びを通じて一人一人の資質や能力を伸ばすことを目指す学校教育の特質に基づく考え方で、一学年あたり、小学校で「2～3学級」、中学校で「4～6学級」が適正とされています。
- ・なお、学校規模の分類は、一般的に以下のとおりとされています。※

◎数字は学級数

学校規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模
小学校	1～5	6～11	12～18	19～30	31～
中学校	1～2	3～11	12～18	19～30	31～

※「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」（平成27年文部科学省）から作成

### 3 令和3年度における桐生市立小中学校の学校規模

学校規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模	計
小学校数	1	8	8	0	0	17
中学校数	0	8	2	0	0	10

- ・小学校では、小規模校8校のうちの4校で学年に学級が一つしかない単学級が全ての学年に、残る4校でもいずれかの学年に見られ、教科担任制を充実させるための各教科を担当する教員の配置が厳しくなっています。
  - ・中学校では10校中8校が小規模校であり、各教科や部活動を担当する教員の配置が年々厳しくなっています。
- ※【教員の配置】児童生徒の人数によってその学年の学級数が決まり、学級数によって教員の配置人数は決められています。（「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等による）

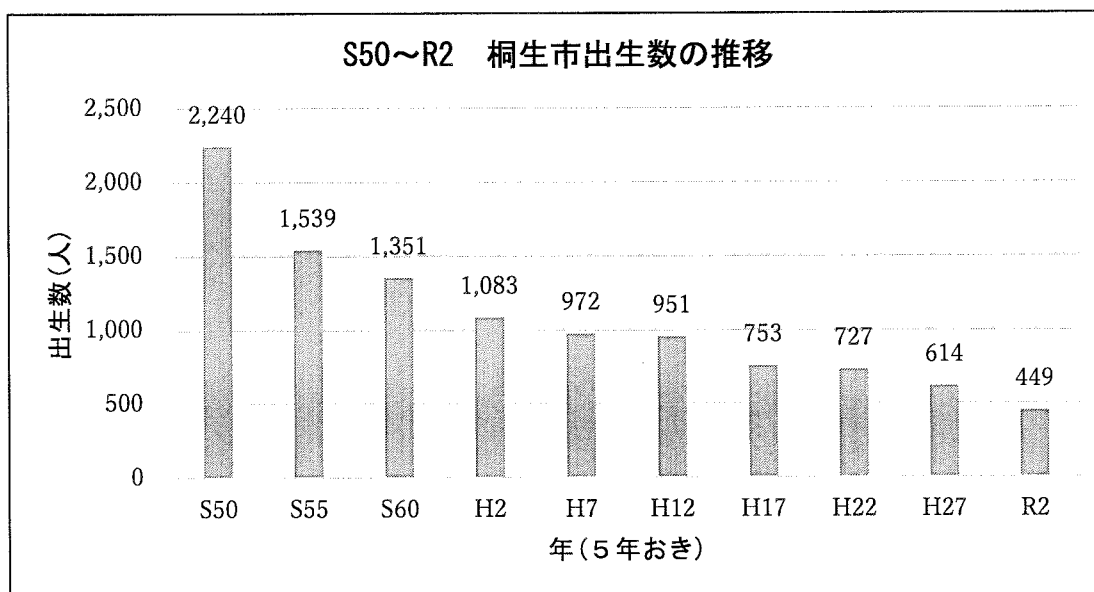
### 4 桐生市内の児童生徒数の推移と推計

単位：人

	平成13年度	平成23年度	令和3年度	令和9年度
児童数（小学校6学年合計）	5,961	6,177	4,147	3,191
生徒数（中学校3学年合計）	3,228	3,173	2,383	1,919
合計	9,189	9,350	6,530	5,110

※平成17年6月13日に新里村・黒保根村と合併

### 5 昭和50年から令和2年までの出生数の推移



※平成17年6月13日に新里村・黒保根村と合併

★次ページからアンケート調査が始まります。





# 「桐生市立小中学校の教育環境に関するアンケート調査」

## 一調査用紙(小学生保護者様用)一

### 3 ページ中の 1 ページ目

#### 1 あなたのお子様のことについてうかがいます

(1) 【問1】あなたのお子様に通っている小学校の名前を一つ選び、マークしてください。

- 東小       西小       南小       北小       境野小       広沢小  
 梅田南小       相生小       川内小       桜木小       菱小       天沼小  
 神明小       新里中央小       新里東小       新里北小       黒保根小

#### 2 学級の人数と、その印象についてうかがいます

(2) 【問2】あなたのお子様の学級には、何人の児童がいますか。あてはまる人数を一つ選び、マークしてください。

- 1～10人       11～20人       21～30人       31～35人

(3) 【問3】あなたのお子様の学級の児童数について、どのように感じていますか。あてはまる印象を一つ選び、マークしてください。

- 多い       ちょうどよい       少ない       分からない

(4) 【問4】あなたは、小学校の一つの学級には何人くらい児童がいればよいとお考えでしょうか。あてはまる人数を一つ選び、マークしてください。

- 1～10人       11～20人       21～30人       31～35人       分からない

#### 3 学級数についてうかがいます

(5) 【問5】あなたのお子様の学年には、学級がいくつありますか。あてはまる学級数を一つ選び、マークしてください。

- 複式学級       1学級       2学級       3学級  
 4学級       5学級       6学級以上

※複式学級：小中学校において二つ以上の学年の児童生徒をひとまとめにした学級

(6) 【問6】お子様の学年の学級数について、あなたはどのように感じていますか。あてはまる印象を一つ選び、マークしてください。

- 多い       ちょうどよい       少ない       分からない

(7) 【問7】あなたは、小学校の一つの学年にはいくつの学級があればよいとお考えでしょうか。あてはまる学級数を一つ選び、マークしてください。

- 複式学級       1学級       2学級       3学級  
 4学級       5学級       6学級以上       分からない

裏面のアンケートに移ってください。



3 ページ中の 2 ページ目

4 通学環境についてうかがいます

(8) 【問 8】あなたのお子様の通学には、どれくらいの時間がかかりますか。あてはまる時間を一つ選び、マークしてください。

- 15分未満                       15分～30分未満                       30分～45分未満  
 45分～60分未満                       60分以上                       分からない

(9) 【問 9】あなたのお子様は、主にどういった方法で通学しているでしょうか。あてはまる方法を一つ選び、マークしてください。

- 徒歩                       自転車                       スクールバス                       公共交通機関  
 自家用車で送迎                       その他

(10) 上で「その他」を選んだ方のみ、その具体的な方法を下の四角の中にお書きください。

(11) 【問 10】小学生にとって通学の限度(最長)と思われる時間は次のどれでしょうか。あてはまる時間を一つ選び、マークしてください。

- 15分未満                       15分～30分未満                       30分～45分未満  
 45分～60分未満                       60分以上                       分からない

(12) 【問 11】小学生が通学するのに考えられる方法は次のどれでしょうか。あてはまる方法を全て選び、マークしてください。

- 徒歩                       自転車                       スクールバス                       公共交通機関  
 保護者送迎                       その他

(13) 上で「その他」を選んだ方のみ、その具体的な方法を下の四角の中にお書きください。



### 3 ページ中の 3 ページ目

## 5 学校規模に関わる教育環境についてうかがいます

(14) 【問 1 2】あなたが小学校に期待することは何でしょうか。ご自身の考えに近いものを次の選択肢から二つ選び、マークしてください。三つ以上ある場合でも、上位二つにしぼってお答えください。選択肢の中に答えがない場合や、その他の考えをお持ちの場合は「その他」をマークしてください。

- 児童どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。
- 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。
- きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。
- 学校行事等で、児童一人一人の登場場面が多く、活躍できること。
- 施設、設備が余裕をもって利用できること。
- クラブ活動や委員会活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。
- クラス替えで人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。
- 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。
- 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。
- 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。
- その他

(15) 「その他」をマークした方は、下の四角の中にそれをお書きください。

(16) 【問 1 3】小中学校の小規模化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。このような対応についてどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを一つ選び、マークしてください。

- 賛成
- どちらかという賛成
- どちらかといえば反対
- 反対
- 分からない

(17) 【問 1 4】桐生市の教育環境の充実や学校規模の適正化等についてお考えになっていることがありましたら、下の四角の中にご自由にお書きください。

★以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。